

ちょっといい話 (No.7)

令和3年度 小学校での一番の思い出は「宿泊活動」

国立吉備青少年自然の家

吉備中央町の吉備高原小学校で、卒業前のPTA新聞での取材があり、6年生に2つの質問を行いました

質問1) 小学校で思い出に残っていること

質問2) これからの目標

皆さんにとって小学校の思い出といえば、「修学旅行」「学習発表会」「運動会」などが頭に浮かぶのではないのでしょうか。

この小学校で「**小学校での思い出は？**」の回答は、13人中9人（約7割）が「**山の学校**」と答えました。

新型コロナウイルス感染拡大で、5年生での「海の学校」は中止（当所で代替事業）になりました。また、6年生での「修学旅行」も「イングリッシュ・キャンプ」も日帰りになりました。

校長先生から、「**子供たちにとって、友達と一緒に泊まる体験が一番の思い出となるようです。**海の学校でも、修学旅行でも宿泊をさせてやることができず、とても残念です。」とお聞きしました。

小学生にとっての宿泊活動は、親元を離れて自立への一歩であり、親の心配をよそにワクワク・ドキドキ感が高いと思われます。また、友達と一緒に風呂に入ったり、宿泊室で長い時間を過ごしたりすることで、友達との仲も深まると思います。

新型コロナウイルスの感染が収束し、新薬も開発され、子供たちが伸び伸びと活動し、友達と一緒に宿泊活動を満喫できる日が戻ってくることを願っています。

